

鹿児島

東洋大学校友会

鹿児島県支部

創立85周年記念会報

- 発行…東洋大学校友会鹿児島県支部
支部長 村松 勇
- 発行日…平成16年12月20日
- 事務局…〒891-0141
鹿児島市谷山中央4丁目4956
TEL.099-267-4302
- 印刷…斯文堂株式会社
TEL.099-268-8211



平成16年9月4日(土) 吹上温泉みどり荘



鹿児島県支部会報発刊を祝して

東洋大学校友会 会長 菅沼 晃

鹿児島県支部のみなさま、このたび貴支部が創設85周年を迎えられますことは本部としても大きな喜びであります。心よりお祝い申し上げます。また、この記念すべき機会に支部会報が創刊され、鹿児島県在住の校友のみなさまに、この場でご挨拶できますことを大変嬉しく思います。

これまで鹿児島県支部は、会員みなさまの愛校心の発露によって活気ある支部として活動され、本部とも常に連携されてこられたことを大変心強く思っております。その上、現支部長をはじめ歴代支部長には意欲的な方々が多く、大学法人の運営にも積極的に参画されております。支部在住会員約600名の方々が同窓の絆で結ばれ、さまざまな行事において組織力を持たれていることは、母校の発展を支える大きな力であり、私立大学にとってかけがえのない財産であります。前期より校友会本部の事業方針のひとつとして、各支部において女性会員の積極的な参加を呼びかけておりますが、鹿児島県支部におかれましても率先して活動を展開されておられます。私たちは、こうした日常の心の通い合いが何よりも大事であり、これこそ校友会の本来のあり方であると強く感じるところであります。

学祖井上円了先生は、明治39年1月に学長を退隠されてから社会啓蒙活動として全国巡回講演を精力的に実施されました。ここ鹿児島県には明治40年に1市10郡34カ村51カ所を訪れ、哲学館出身者の方々とも親交を深めております。この支部会報が号を重ねられ、県内各地の会員相互の親睦の場となり、情報交換の場となりますよう祈念してやみません。

末筆になりましたが、今年はいいにく台風が多く発生し、連続して西日本を襲いました。災害に遭われました校友各位には心よりお見舞い申し上げます。台風一過、錦江湾に夕日が美しく輝き、貴支部が今後ともますます輝き発展されますことを確信して、発刊の祝辞と致します。



鹿児島県支部会報の意義

校友会鹿児島県支部 支部長 村松 勇
(昭和34年 国文)

大正8年(1919年)校友会鹿児島県支部は産ぶ声をあげ、ここに85年、会報の創刊されることを支部校友600名とともに大いに喜びとするところであります。これを契機に支部校友としての誇りと使命に徹し、支部活動の更なる前進の弾みとしようではありませんか。

いつの時代でも歴史の重みの中から、学ぶべきものが必ずあります。今回菅沼晃校友会会長より、この紙面にもその事実を示していただきましたが学祖井上円了先生が明治40年(1907年)2月18日より3月23日まで一ヶ月以上に亘って鹿児島巡回講演をされているという事実であります。校友会本部より、円了先生の入念な巡回記録、「鹿児島県紀行」の写しも受理しました。ありがとうございました。その資料によりますと円了先生が鹿児島入りされた際、当時の鹿児島県知事は令夫人を伴い、県の要人数とともに迎えております。

また、「哲学館」(明治20年創立)の卒業生、秦法顕氏も県視学官とともに馬車に駕した円了先生に同行したとあります。

このようにして県内51ヶ所、80会場にて実に22,250人の聴講者が集まったのであります。なんと偉大なことではありませんか。まさに「歴史は未来を照らす鑑」でありこの精神的遺産ともいべき建学の精神を今こそ、私たちは具現すべきであります。

幸い本支部は85周年の経緯の中で政・官・財・そして文武両道に優れた校友が数多く輩出されております。現在も各界に活躍中であり地域社会に貢献しております。今回、会報に学祖円了先生の鹿児島訪歴の事実を私たちの起爆剤として新たな本県支部の第一歩を築くことができるかと確信いたしております。これを契機に校友会相互の出会いふれあいを密にし、お一人おひとりの向上と本支部の発展を堅い絆で結んでいきましょう。

この発刊のために菅沼校友会会長を始め本部及び支部事務局関係の方々、多くの手数をおかけいたしました。支部校友一同とともに厚く感謝お礼申し上げます。

東洋大学校友会 鹿児島県支部総会開催

名湯と詩歌の里「吹上温泉 みどり荘」に東洋大学の校歌が響きわたる!

平成16年9月4日(土)、東洋大学校友会鹿児島県支部創立85周年記念、総会・懇親会が、名湯と詩歌の里、「吹上温泉みどり荘」(池田日道氏・オーナー、昭和63年観光)で、開催され39名の校友が出席した。総会に先立ち、東洋大学常務理事、田淵順一氏による「東洋大学の近況から未来へ」と題しての講演会が行われた。



スクラムを組んで、校歌、応援歌

宴も最高になったところ、最後にもう一度校歌を歌おうということになり、全員でスクラムを組み、静かな吹上のみどり荘に、再び校歌が響きわたった。

最後の万歳三唱は、平成14年卒業の小梅枝照家氏と山之内裕美氏の若い二人による、大きな声のもと、「東洋大学、鹿児島支部、校友会、万歳・万歳・万歳」と全員が唱和した。

恒例の近況報告では、出席者全員がビジネスに役立つ情報提供や、趣味や日常生活などを紹介した。80才代から20才代まで数多くの校友が集まり、先輩から後輩へといろいろなことが、伝えられる情報は必ず、校友ひとりひとりに役立つことと思われる。



懇親会で宴たけなわ

2005年(平成17年)4月12日に、文・経済・経営・法・社会の文系5学部が、東京白山キャンパスでの4年間教育に変わることに伴い、埼玉・朝霧キャンパスには、ライフデザイン学部(仮称)の新学部が誕生する予定などを熱く語られた。

その後、総会に入り、亡師・亡友への黙祷のあと、村松勇支部長のあいさつ。平成16年度会務報告、決算報告、監査報告と、すべての議案について全会一致で了承された。

総会が終わったあと、みどり荘の大広間に場を移して懇親会が行われた。

東洋大学校歌・応援歌を大合唱し、そのあと桐原正吾(昭和20年 経営)氏が大きな声で乾杯の音頭を取られ、楽しい会話が飛びかう懇親の場へと変わった。ここ数年、恒例となっている奥村司(昭和35年 国文)氏の手品・そしてジャンケンゲーム。賞品めざして、子供にかえて真剣なまなざしでジャンケンに興ずる。賞品には、伊木三喜子(昭和49年、英文)氏勤務先の河内源一郎商店の紅酢・醤油。福山裕裕(昭和63年、法律)氏勤務先の鹿児島東急インのお食事券、その他、みどり荘の温泉入浴券、女性校友からクッキーと数多く用意された。



ジャンケンゲーム

〔参加した校友の声〕

中野博愛氏(昭和38年 経済)

毎年参加していますが、温泉に入り、宿泊をし、夜遅くまで校友と語り合えたことは今までと違って、より親交を深めることが出来て大変良かったです。

岩戸彦氏(昭和41年 法)

鹿児島県に帰って来ました。こんなに楽しい会が続いていたこととても、嬉しく思います。これからは、毎年参加します。



奥村氏の手品

四枝和久氏(昭和49年 経済)

みどり荘に近づくとも東洋大学ののぼり旗が何本も立ってあり、何だかワクワクしてきました。やっぱりあの色ののぼり旗を見ると嬉しくなりますね。箱根駅伝もぜひがんばってほしいです。

有村孝一郎氏(昭和49年 経済)

息子が東洋大学に入学してくれました。こんなに嬉しいことはありません。あと何年かしたら、親子で校友会に参加できたら最高ですね。



万歳三唱の音頭(小梅枝・山之内の両氏)



楽しい会話ははずむ

小梅枝照家氏(平成14年 教育)

卒業してすぐこの会に出席しました。今年で3回目です。校友会と雨水会とのつながりがあったので、この会に参加することを両親が勧めてくれました。今日は、9月第1土曜日は、私の仕事は必ずあけてくれます。今日も奄美大島での仕事は、父が行っています。先輩方という話をすることで、とても勉強になります。これからは後輩がひとりでも参加してくれる様に、声をかけていきたいと思います。もちろん来年も参加します。

山之内裕美氏(平成14年 観光)

高校の担任が幹事長の西村先生でした。先生の勧めで参加するようになりました。卒業して、この様な形で先生と会えることがとても嬉しいです。また女性の方も多く参加されているので心強いです。ひろみちゃんと妹のように声をかけて下さり、心地好い気分になります。今年は、万歳三唱までさせてもらいました。

平成17年度鹿児島県支部総会開催のお知らせ
日時:平成17年9月3日(土)
場所:「鹿児島東急イン」の予定です。

キャンパス 今・昔



昭和45年頃のキャンパス



平成16年のキャンパス



正門 雨水の森

大相撲が楽しみ!

於:吹上浜公園相撲場



高見謙(幕下東八枚目)横山 武蔵川部屋(前列右端) 中野(幕下西五十四枚目)中野 東関部屋(前列右から3番目)

去る、平成14年5月5日第12回全国選抜大学、社会人対抗相撲九州大会が吹上町の吹上浜公園相撲場で開かれた。その時、活躍した、横山英希選手、中野一成選手らが、現在、幕下それぞれがんばっている。鹿児島県校友会として、みなさんに応援をしましょう。

特別寄稿

校友会鹿児島県支部 会報発行を祝って

顧問 木場 正義 (昭和7年 倫東)



母校、東洋大学鹿児島県支部が創設されてから、85周年を閉みし今日に至っていることは、ご承知の通りであるが、この記念すべき年にあたり、鹿児島県支部会報が発刊されることは、極めて意義のあることと思う。

この記念すべき年にあたり、念の会報に所感の一端を述べることは、最高のよろこびであり誇りである。また、その機会に恵まれたことを心から感謝する次第である。この記念すべき年を契機に一層の母校の発展と校友諸兄の多幸を念じてやまない。

述べるまでもなく、母校は古い歴史と輝かしい伝統にみち、世に高く評価されていることは、今更述べるまでもないが、このように誇り高き母校を母校として深い縁に結ばれていることは、最高の誇りでありよろこびであり感謝にたえない。とくに私的なことながら、この誇りある母校を母校として、深い縁に結ばれたいと願う。私も深く縁を進んでおり、このご縁を更に最高のよろこびとし、また、誇りとして敬謝するのみである。

この記念すべき年を契機に、更に一層の精進を期し、かすかすの高恩に感謝の意を表すべく、最善を尽くしたいと念ずるものである。この尊いご縁を更に一層大事にして、万全を期したいと念じつつ、各位のご健勝とご多幸を祈念するのみである。

居住 船橋市三山 4の9の19

東洋大学校友会に寄せて……。

雨水会鹿児島県支部 前支部長 中村千江子



於:平成15年9月 雨水会と校友会合同懇親会

私は息子が東洋大学に入学してから5年間全て役員をさせていただきました。三年間鹿児島県支部長も経験させていただきました。貴重な事だったと今更ながら感謝しています。

大学は普通四年間なのですが何故か5年間も息子は通ってくれました。支部長として校友会に出席させていただきました出水市長の渋谷氏とお話する機会がありました。「私も永いことかかって卒業しましたよ。お宅の息子さんは五年!! まだまだ大丈夫!!」と力づけていただいたものです。

雨水会卒業後、他の方ならきつと考えられない事とは思いますが、校友会に息子の代わりに出席することにしました。卒業生が出席すべき所に父兄が出席するなんて考えられますか?

それを私はやってしまっているのです。私は東洋大学にすーっとかかわっていたいのです。東洋大学が好きなんです。もっと言いますと東洋大学校友会鹿児島支部の皆さん大好きなんです。いつまでも皆さんがお元気で仲よく楽しく校友会が発展されます様に願っております。

市政に活かす 東洋大学での学び

出水市長 渋谷俊彦 (昭和42年 経済)



母校東洋大学は、明治20年、学祖井上円了博士により「私立哲学館」として創設後、実は一世紀以上の長い歴史と伝統を持ち、現在では日本有数の総合大学として着実に発展し続けていることに校友の一人として大変嬉しく存じております。また、私達の後輩諸君である卒業生は、毎年5千

すばらしい青春!

徒手空拳

東洋大学体育会空手道部OB会副会長 (財)全日本空手道連盟鹿児島県支部理事 松下 健一 (昭和47年 経法)



東洋大学を卒業して32年も経つのに、今でも年に数回、空手道の試合の夢を見る。

昭和43年春、入学と同時に空手道部に入部した。理由は入学式で行われた先輩部員達の演武の素晴らしいことに魅了されたこと、自分の心身鍛錬のためだったと記憶している。

当時の東京は学生運動の嵐が吹き荒れていた。東京大学安田講堂事件、新宿駅騒乱、三島由紀夫氏刺殺、そしてあの浅間山荘事件などが起きたのも当時である。団塊の世代と呼ばれる我々の青春時代は、その世代人口の異常な多さに伴って、受験地獄だ灰色の時代代と言われ、決して明るい時代ではなかった。若きエネルギーがその発散の場を求めて、左へ右へ中道へと迷走していった。

伝統ある母校が他大生が入り混じってのロックアウトも激しく、キャンパスは荒んで休講が多く、空手道の稽古も根津神社、小石川植物園、上野公園の不忍池付近でやるが多かった。師事した故岩田万蔵先生のお宅(入間市)に住み込み、茶工場のアルバイトをさせて働きながら、厳しい指導を仰いだ日々が懐かしい。大学の道場は地下3階にあり、真に精神と肉体の極限まで鍛錬するに相応しい地獄の特訓場所だった今にして思う。今なら社会問題になるであろう稽古の後の1時間の正座と、我々が4年になった時には廃止したが、先輩からは買った「ヤキ」。しかし鬼のように見えた先輩達も、稽古を離れると皆、優しい思いやりのある方々であった。

大学3年の時、次鋒で出場させてもらった東日本・関東・全日本の大学選手権で、史上初の三冠王を、全て初優勝で開く。「万年三位の東洋」と言われ続けた汚名返上である。選手である自分達よりも、大学関係者やOBの先輩達が大喜び、盛大な祝勝会を開いてくれた。

4年になり、東日本・関東と準優勝だったが、大将として出場した全日本だけは2連覇を達成する事ができた。学生時代、最も印象に残っているのは、東西対抗戦で西日本の個人優勝者である天理大の選手に勝った試合である。当時は東日本は個人選手権はなかったため、喜びもひとしおだった。これも偏に故岩田師範はじめ諸先輩方の御指導の賜と深く感謝している。4年の時は大学から光栄にも授業料を免除していただき、そのご恩は生涯忘れる事ができない。

卒業と同時に恩師から海外指導員としての有難い話もあったが、両親の反対で帰国した。

30歳で小さな会社を「徒手空拳」で興し、お嬢様で過なく25年が経とうとしている。我ながら無謀ともいえる愚かな人生を歩いているように思う事もあるが、決して後悔はしていない。空手道を通して良き師や先輩・友人と出会えた事は幸運に思う。そして苦難に遭遇した時、いつも思い出すようにしているのが、学生時代の空手道の日々の稽古や日本武道館での試合の思い出である。

昭和46年11月14日 第15回全日本大学空手道選手権大会優勝 (日本武道館にて)

学生時代の想い出

副幹事長 松永幹太 (昭和53年 経済)



私にとって学生時代の想い出とは「東京中央郵便局」と「みすず荘」であろう。「東京中央郵便局」は、貧しかった私の生活の糧を得る場であった。夕方5時から翌朝9時までの16時間が勤務時間。途中3時間半の休憩時間と若干の休憩時間もあつたが、さすがに朝は眠くて、トイレに入って立っただま目眠りするところもあった。そんな中で一番の楽しみが、朝ご飯。今日も一日働いたぞという心地よい疲労感から、御飯に、味噌汁、納豆、卵の朝食がなにより美味しかったことを憶えている。そして、もうひとつの「みすず荘」これは4年間お世話になったアパートである。上板橋にある戦前から建てたものであると思われる古い木造の二階建てで、大学の紹介ということで大部分が東洋大生だったため、居心地もよかった。特に寂しい時や疲れた時などはアパート仲間と酒を飲み交わしたりできたので、アルバイトの疲れも癒されたような気がする。卒業してからも、当時の仲間と一緒に会って一緒に酒を飲み交わしたらと思う頃である。卒業して27年近くになる。今でも上京する機会がある。たまたま東京駅丸の内口に足が向かう。郵便局舎が今も昔と変わらずに建っている姿を目にすると、ふとがむしゃらに生きていた若かった頃の想い出す。

座談会

〔出席者〕

本田涼子(昭45年 観光)
ホテルレクストン鹿児島勤務
副支部長
伊木三喜子(昭49年 英文)
(株)河内源一郎商店勤務

松岡洋子(昭52年 法律)
松岡司法書士事務所勤務
江口慶子(昭63年 国文)
平成15年3月小学校教諭退職

司会 西村正一郎(昭44年 史学)
鹿児島高等学校勤務
幹事長



パワー溢れるレディース会開かれる

平成16年11月22日(月)「ホテルレクストン鹿児島」にて、本田涼子さん、伊木三喜子さん、松岡洋子さん、江口慶子さんの4人が集まって、幹事長西村の司会により、パワー溢れる楽しい会が開かれた。

江口: こんばんは、先日のみどり荘での校友会、最高に楽しいでした。すばらしい温泉に何回も入りました。そして、皆さんからまた、パワーをいっぱいもらいました。



松岡洋子さん

松岡: 私は、先日の校友会に行った時、腰や首が痛くてどうしようもなかったのですが、その時、江口さんが紹介して下さった鹿屋の園田整骨院へ行って来ました。すばらしい病院で、その1日で治りました。江口さんのおかげです。いや校友会のおかげですね。

伊木: 校友会には、仕事の関係で出席できませんでしたが、今日こうして会えてとても嬉しいです。

西村: いつも校友会では、伊木さんには、紅酢や醤油の差し入れありがとうございます。今年もジャンケンゲームの賞品にさせていただきました。みなさんも何か、伊木さんからの紅酢や醤油を期待しているみたいですよ。(笑)

本田: 今回は、志布志に出張してきましたので、志布志でタイヤ専門店をされている校友の下唐湊(昭和39年 経済)先輩のところまでタイヤを交換してきました。とても安くしてもらいました。その後は、快適に車を飛ばして帰ってきました。校友ってありがたいですね。

西村: みなさん今日は、お忙しいなか遠いところからも集まっていたありがとうございます。食べながら、飲みながら、学生時代のことを校友会のこといろいろ聞かせて下さい。それでは、まず学生時代のこと何でも結構です。

松岡: 大学のすぐ横にあったおいなり屋さん、あれ安くて、すごく美味しかったですよね。(全員、うなづく)

本田: お店の名前、何でしたか…?(全員、覚えていない)

松岡: あと前にあったパン屋さん、あのパンも美味しかった。

本田: 学食のうどん、そばも安くて美味しかった。

伊木: 集鴨の「白鳥」とか喫茶店にも、よく行きましたね。でも、あのおいなりは、本当に美味しかったですね。

江口: やっぱり、女性は食べ物からですね。(笑)

松岡: サークルは「法律相談室」に入っていました。はじめに恋愛とか法律に関係のないことを話し合っていましたね。今「法律相談室」あるのかな?

伊木: 私は「ドイツ文化研究会」に入っていました。哲学科の人が多くていつも屁理屈ばかり言ってましたね。でも、そのおかげでドイツに行き、そして少しはドイツ語が話せるようになりましたよ。

江口: 私は通信教育でしたので夏のスクーリング出席が楽しいでした。7年間、在籍しているいろいろ勉強しました。小学校に勤めながら中学校で教育実習をする等たいへんでしたが今では良い思い出です。

東洋大学には書道の資格取得が目的で編入しました。勤めながら今までに保育、幼稚園、小学校、中学校、高校、養護学校、書道と次々と資格を取りました。

女性の自立は経済的自立からと思いその為には、いつの世でも通用する資格が必要と思っていたからです。東洋大学の通信教育は丁寧でとてもよかったです。

本田: 私の頃は、とにかくストライキが多かったです。

伊木: 私の頃もそうでした、学食のうどん30円が50円に値上りするといつてストをしてましたね。(笑)

本田: 私は、2年間、帝国ホテルでアルバイトをしてい



ました。東洋大の観光科は、大きなホテルと提携してましたからね。おかげで英語、仏語が話せるようになりました。あの時のことが、今の私をしっかり支えてくれています。

西村: みなさん、まじめに一生懸命、学生生活を送っておられたようですね。(少し笑い)

それでは、次に校友会に来られる様になったきっかけは、また校友会について話して下さい。

松岡: 私は、霧島プリンスホテル社長だった蔵前先輩のしつこいアタックでした(笑)。先輩はもう故人になりましたが、総会前になると蔵前先輩のことを思い出します。あの時しつこく誘って下さってありがたかったと、今は思っています。

伊木: 私は、5年程前本田さんの声かけで来ました。参加したらとても楽しく、意義ある会だったので毎年参加しようと決めました。



伊木三喜子さん



江口慶子さん

江口: 1回目参加の時、皆さんのパワーに圧倒されました。一人ひとりが生き生きしていらっしゃいました。職業、年齢を越えた信頼感に満ちた、和気あいの雰囲気の魅力、新鮮さを感じ、それ以後、毎年、出席するのが楽しみになっています。

いつも自然体で話ができる雰囲気がありますね。

本田: 私は、大分以前から参加させてもらっています。そのお陰で多くの方からいっぱい仕事をいただいています。今日も2階では、鹿児島高校の先生が、西村先生のご紹介で利用して下さっています。他にも校友の方々にご利用いただいております。

西村: それでは最後に、これからの校友会のこと、あるいは、自分のやりたいことなどを話して下さい。

伊木: これからも河内源一郎商店の紅酢や醤油をよろしく願いますね。校友の人達を通じて、もっと、広く知ってもらいたいと思っています。もちろん賞品としてこれからも差し入れしますよ。(皆、手を合わせてお願いします)

松岡: 校友会には、必ず出席します。そしてレディース会に1人でも多く参加して下さい。声をかけます。

江口: みどり荘は気に入りました。次の機会もよろしく願います。これからも校友会に参加して皆さんとの縁を大事にしたいと思います。また、外国で書道を教えたいという目標に向けて一歩一歩前進です。

目標を持つという事が元気のもとですね。

紅酢を飲んだらさらにパワーアップですよ(笑)。

本田: 江口さんに書道をならって、日展入賞をめざしたいです。そして、東洋大学の学生さんの前で、接客業とは、社会はどの様な人材を求めているのかなど課外授業をやりたいです。

校友会と雨水会のつながりを持ちながらより元気の出る校友会をつくっていきたくです。そして、女性の方々が毎年ひとりずつ増える様に努力しましょう。

西村: 今日は、みなさんのパワーをいっぱいもらいました。このパワーを基にしてこれからも校友会発展のために頑張りたいと思います。今日は、本当にありがとうございました。



本田涼子さん

おひたりくたさい。

心ゆくまで

いで湯情緒に

素材な

細やかな人情と



吹上温泉

日観連会員

みどり荘

〒899-3303 鹿児島県日置郡吹上町吹上温泉
TEL.099-296-2020 FAX.099-296-5302
代表 池田 日道(昭和63年 観光)